

From the
People of Japan

ブリアにおける経済復興と コミュニティの回復のための社会的弱者への支援

\$ 予算: 461,240 米ドル



実施期間: 2023年3月 - 2024年3月

開発課題

中央アフリカ共和国は、農業の潜在力、鉱物資源、広大な森林に恵まれているが、国民たちは依然として世界で最も貧しく、多くの人間開発の課題に直面している。人間開発指数は0.571（UNDP2019）で、リストの下から2番目（188/189）である。2022年6月現在、国内で最も多い36,208人（6,900世帯）の国内避難民が、ブリア市のPK3に住んでいる（UNHCR, 2022）。人口40,860人のブリア市は、オート・コット県内のブリア副知事府の県庁所在地である。サービスへのアクセスが制限され、経済的な機会や不平等が少ない地域では、紛争が悪化する可能性がある。人道-開発-平和の結集をタイムリーに達成するためには、安定化、経済復興、過激化防止への道を開くために、ブリアへのさらなる開発介入が必要である。

ブリア市役所は、ブリアの安定化と経済回復のために、社会インフラの復旧支援の必要性を表明した。国内避難民や帰還民だけでなく、受け入れ地域の住民自身も脆弱である。人道支援機関は緊急支援しか行っておらず、長期的な回復力を得るためには早急な開発支援が必要である。経済復興のためには、人的資本への投資と生産活動の支援が必要である。

プロジェクトの目的

プロジェクトの全体的な目的は、国内避難民、強制移住させられた帰還民、元戦闘員など、ブリアの社会的弱者を支援し、持続可能な生計を再確立し、安定化、経済復興への道を開き、過激化防止に貢献することである。

このプロジェクトは、ブリア市役所との協議と合意に基づき、ブリアにバスターミナルを建設し、人と物資の流通を促進して経済復興に貢献する。

若者、女性、国内避難民、帰還民、受け入れコミュニティ、元戦闘員を含む脆弱な人々に対し、臨時労働や技術・管理訓練が提供され、彼らの生計回復を支援する。さらに、機器の提供により、彼らの生産活動に付加価値を与え、収入を生み出す活動を発展させる。これにより、現在不十分である家計収入を補うことができる。

プロジェクトの成果

国内避難民、帰還民、受入コミュニティを含む脆弱な人々の生活を再建するために地域コミュニティのインフラの建設/修復

国内避難民、帰還民、元戦闘員を含む脆弱な人々や元戦闘員の持続可能な生計に貢献するIGAを支援

パートナーシップ

日本政府

SDGsへの貢献

